

# JCM政治顧問だより (政治顧問紹介)

普段の政治活動だけでは分からない政治顧問の人物像や熱い思いを知っていただくことで、より親近感を深めていただく機会となればと「政治顧問だより」を企画しました。日頃、金属労協の産業政策を力強くご支援いただいている7名の金属労協政治顧問の方々を自己紹介という形でご紹介いたします。

## questions

- 1 趣味・特技について
- 2 選挙区又はご出身地の自慢(ご当地自慢)
- 3 尊敬する政治家について
- 4 目標にしていること・座右の銘(その理由について)
- 5 注力している政策や取り組みについて
- 6 青春の思い出(当時夢中になっていたことなど)
- 7 人生で一番嬉しかったこと(できれば初当選以外で)
- 8 議員になってから気付いたエピソード



**磯崎 哲史**  
(いそぎ てつじ)  
国民民主党  
参議院議員／比例代表  
2013年初当選

- 1 **ピザ作りです。** 実は結構凝り性で、たまにFacebookにアップしています。別に料理が得意なわけではなく「ピザが作りたいだけです。ピザ用ストーンなどの道具も揃えています。
- 2 **自動車産業で働く日本中の仲間たちに支えられ、全国比例で活動する私にとって、日本列島すべてがご当地です。** ご当地ラーメンやご当地スイーツとの素敵な出会いがあると、とても嬉しい気持ちになります。
- 3 **坂本龍馬を尊敬しています。** 彼の周りには仲間がたくさんいて、その仲間と仲間をつなぐ役割を発揮していたと思います。多様な意見を持つ人々をまとめ、大きな塊を作ったことを成したことが凄いです。
- 4 **常に前向きな心でいられるように「つらい時にこそ笑顔をやさしい」ことをモットーにしています。** なお、信頼できる仲間たちのおかげで、つらい時の笑顔に至る前に切り抜かれることも多いです。
- 5 **手取りを増やす政策の実現に注力しています。** いわゆる、停滞の30年間に労働組合の役員として労働環境の改善に取り組みましたが、賃上げは成し得ませんでした。今は国会議員の立場で、「仲間の思い、かたちにしたい」という想いのもと、手取りを増やす政策はもちろん、一般的な労働環境の改善を実現していきたいです。
- 6 **体を動かすことが好きです。** 高校ではハンドボール部に所属しました。土日や春夏の長期休みも毎日部活があり、**3年間、勉強そっちのけでハンドボール漬け**でした。その時の仲間とは今でも会って昔話を花を咲かせています。その他に、バイクのモトクロス、スキー、スノーボードなどにも熱中しました。
- 7 **何と言っても、子どもの成長です。** ハイハイで迫ってきたことも、初めて立ち上がった時のことも、小学校の入学も、全てが感動です。政治活動で在宅時間が少ない分、家族と一緒に時間を大切にしています。
- 8 **政治が動く仕組みです。** 初めは小さな声でも、理解者を増やし、社会問題として認知を広めることで、議論のテーブルに載せることができます。一方で、政局やタイミング等色々な条件が揃わないと実現できないのも現状です。「ガソリン暫定税率」の廃止は、民意、政局、タイミングが揃って政策実現に至った稀有な例だと思えます。



**浜口 誠**  
(はまぐち まこと)  
国民民主党  
参議院議員／比例代表  
2016年初当選

**1** 生まれも育ちも、海が近く、両親も漁師だったので、**魚釣りが大好き**です。議員になってから、ぜんぜん釣りに行けないので、海が恋しくなります。

**2** 三重県松阪市出身なので、**松阪牛**が有名。みんなから、毎日松阪牛を食べていたのか？と聞かれることもあります。地元の人も毎日食べません。高校時代に、肉屋でバイトして、お昼のまかない飯は、すぎ焼きでした！

**3** 伊勢湾台風被害があった時に、地元の漁港を視察に来たのが、**大野伴睦衆議院議員**。祖父が、私が小さい頃に大野伴睦が、獵師町に来たことを何度も話していたので、素晴らしい政治家だと思っています。

**4** 「**現地現物**」。何事も、自分の目を見て、現場を知って、直接話を聞くことで課題や実態を知ることができると思っています。現地現物を基盤にして、政策立案などの政治活動にも活かしていきたいです。

**5** 日本の競争力強化、生産性の向上を図るとともに、地方を元気にして、日本全体の人流、物流を活性化させるため、全国の国民の財産である**高速道路**に関して、「**高速道路料金1コイン500円乗り放題制度の導入**」。高速道路利用者、地方、産業界、国、高速道路会社の5方良しの政策であり、みんながWIN-WIN、ハッピーになれます。

**6** 高校時代は、生徒会で、**体育祭や文化祭の企画や実行を担当**。これまでにない新しい事をやろう！と、仲間と遅くまで話し合ったり、準備していたことが、懐かしい。もう一度、あの頃に戻ってみたいです。

**7** **子どもが生まれて家族が増えたこと**。子どもの成長は、自分の人生に彩りを与えてくれたと感じます。生まれてきてくれてありがとう！

**8** **参議院本会議場と衆議院本会議場の違い**。天皇陛下は、参議院本会議場にのみ来られる。国会の開会式も、参議院本会議場だけで行われる。また、参議院のみ、押しボタン方式で法案の賛否を投票することができます。調べてみてください。



**浅野 哲**  
(あさの さとし)  
国民民主党  
衆議院議員／茨城5区  
2017年初当選

**1** 「**夜のランニング**」です。毎年4月に開催される「日立さくらロードレース」のハーフマラソン出場に合わせてトレーニングを重ねています。仕事後のリフレッシュにもなり、どこでも出来るので出張先にもシューズやウェアを持って行っています。

**2** 私の選挙区である茨城5区(日立市、高萩市、北茨城市、東海村)は、とにかく**快適な気候(夏は涼しく、冬は暖かい)**と**災害の少なさ**、国内外の美食家を喰らせる**絶品食材が四季折々に楽しめる**ことが自慢です。今の季節はあんこう鍋やほしものが有名です。是非、味わいにきてください。

**3** もちろん、私の前任者にあたる**大島章宏さん**(元国土交通大臣、元経済産業大臣)です。日立製作所の技術者出身で、民主党の結党や国務大臣経験もあるすごい方ですが、目標は常に地域に向いており、地元では毎週必ず駅前での活動を続けていました。私も真似をしています。

**4** 大きな目標は**日本のものづくり力・技術競争力を高め、日本経済を成長させる**ことです。私の座右の

銘は日立製作所の行動指針、「**基本と正道**」です。どんな時でも基本を大切に、誠実に事にあたることが大切だと思っています。国民民主党の「**対決より解決**」にも通じるものがあると思います。

**5** 自動運転の導入にむけた法改正やエネルギー安全保障強化のための原子力政策および再エネの主力電源化推進等をすすめてきました。また、児童手当の所得制限撤廃や年収の壁の引上げ、ガソリン暫定税率廃止等に取り組んできました。今後も**組合員の仕事と生活の発展をめざし、政策実現に取り組んでまいります**。

**6** 子供の頃から**モータースポーツ**が大好きです。高校に入ってすぐ二輪免許を取り、週末には仲の良い友人とツーリングやサーキットに出かけました。またいつか、ツーリングに出かけて風を切りながら走りたと思います。

**7** もちろん**我が子の誕生と、子供の日々の成長**です。子供はあつという間に大きくなります。いつの間にか字が上手になっていたり、学校等で良い人間関係を作れていることは、自分の事以上に嬉しいですね。

**8** 議員は毎日たくさん勉強会や議論の場に出席し、知識をアップデートし続けるのですが、「**百聞は一見に如かず**」という言葉はまさにその通りだと思います。これからも国内外を問わず、様々な現場を訪ねていきたいと思っています。



**平戸 航太**  
(ひらど こうた)  
国民民主党  
参議院議員／比例代表  
2025年初当選

- 1 趣味はマラソンで、これまでに何度かフルマラソンを完走しています。直近の2年間は大会に参加できていなかったのですが、今年4月予定の『日立さくらロードレース』のハイマラソンに参加しようと思いい、最近練習を始めました。
- 2 長崎市にある伊王島という離島の出身です。美しい海が身近にあり、小学校に登校する前の朝5時頃から父親とカマス釣りに行くこともありました。そのカマスが、今では『伊王島の出力マス』としてブランド化されているのが自慢です。
- 3 もともと政治家を目指していたわけでも、政治と近い世界で過ごしていたわけでもないので、過去の政治家を含め、政治家を意識することがありませんでした。
- 4 縁の下の力持ち。選挙を通じて、多くの方々が日々の活動を支えているということに認識しました。国会議員として、そういった方々への感謝の気持ちを忘れることなく、また国民の皆様の生活を陰で支える存在でありたいと考えています。
- 5 高市総理の所信表明演説にあった『新技術立国』という方針に注目しています。私は夏の参議院選挙で、『メイドインジャパンを増やす』という思いを強く訴えました。その思いと重なります。政府がどの分野にどの程度の規模の投資をするのか？どのようにして人材育成を戦略的に支援するのか？という点を深掘りしていきたいと思っています。
- 6 サッカー部での活動が思い出です。高校3年生の時はキャプテンでしたが最後の大会前にけがをしたため、私は試合にほとんど出ることが出来ませんでした。ケガをしたときにチームメイトがいろんなサポートしてくれたり、ほかのメンバーが必死にプレーする姿を見て、チームの素晴らしさを感じました。
- 7 大学受験に合格したことです。高校は船通学でした。運行本数も少なく、波が高い時には運休となるので、常に時間と運行状況を気にしながら過ごしていました。大学生になったら実家を離れ、船から解放されて生活できることが嬉しかったです。
- 8 議員になってから、与野党の議員同士でも率直に意見を交わし、協力できる場面があることを知りました。当選前は、立場が違えば接点は限られるのではないかと思いましたが、実際には超党派の議連や同期の関係を通じて、幅広いネットワークが広がっています。



**大嶽 理恵**  
(おおたけ りえ)  
立憲民主党  
衆議院議員／比例東海ブロック  
2024年初当選

- 1 普段は仕事に夢中なことが多いですが、リフレッシュにアロマテラピーもします。私の住んでいる豊川は、レモングラスやローズマリーなどを作っている農家さんもいらっしやるので、ハーブティーを買って飲んでいます。
- 2 選挙区は愛知14区(豊川市・蒲郡市・新城市・幸田町・設楽町・東栄町・豊根村)。日本3大稲荷の一つと言われる『豊川稲荷』のある豊川市に住んでおり、出身地である蒲郡市は、『みかん』の有名な産地です。
- 3 愛知14区で以前衆議院議員をされていた、鈴木克昌先生。人徳者であり、常に有権者目線で物事を見ておられると同時に、発想に先見性があり、時代の先を見ている方なので、見習いたいと思います。
- 4 『先憂後楽(せんゆうこうらく)』という為政者のあるべき姿を説いたことばを座右の銘としており、先を見通して課題解決に取り組んで、後の世代に先送りしないように、との想いで日々活動しております。
- 5 働く方々の賃金を物価上昇以上に上げるため、労務費の価格転嫁や商慣習の改善を推進しています。子育てと働くことの両立をしやすいように、子育て支援施策の充実にも取り組んでいます。「健康は食から」という思いから、安全安心な食料を国内で継続して生産できるように、農林水産業支援にも力を入れていきます。
- 6 中・高校生時代は、高校野球、プロ野球のファンでした。プレーやその裏にある努力に惹かれ、友達と試合を見に行きましたし、高校の新聞部にその時期だけ臨時入り部して、新聞記事を書かせてもらったこともあります。
- 7 人生で一番嬉しかったことは、日々の子どもの成長。もう大きくなり、今年から社会人になりましたが、節目節目で、大切な思い出があります。子育てを通して、自分自身も成長させてもらったと思います。
- 8 地方議員から国会議員になって気づいたことは、国会議員はチーム戦だということです。活動範囲が広くなった分、事務所スタッフ、ボランティアなど、さまざまな人の力を借りて、社会課題解決に向けて頑張ります！



**郡山 玲**  
(こおりやま りょう)  
立憲民主党  
参議院議員／比例代表  
2025年初当選

- 1 趣味は「ランニング(最近サボり気味)」と「お酒を飲むこと(絶賛継続中)」です。得意技は「話がスベること(自覚なし)」と「四の字固め(プロレス技)」です。
- 2 出身地熊本県の自慢は、風光明媚な球磨川が流れる盆地で醸造される「球磨焼酎」と、漫画『夏目友人帳』の聖地であることです。第二の故郷・愛知県豊橋市は、海・山・川があり、住みやすい街であると同時に本州のほぼ真ん中で全国へのアクセスも良いところ。
- 3 強いて挙げるなら、叩き上げという点で「田中角栄」氏。政治スタンスへの影響という意味では「大塚耕平」氏のお二人です。
- 4 「現場の声ではたらくを変える」こと。学のない自分でもここまで来られたのは、出会ってきた皆さまのおかげ。驕らず、経験を積みながら、現場に報いる政治を続けたいと思っています。座右の銘は「仁義をもって礼を尽くし、知を保つ」です。
- 5 「ものづくり中小企業振興と労働環境の改善」です。日本のものづくりを支える中小企業の利益確保と人手不足の改善、そして安全で健康で働ける職場環境の実現に取り組みます。現場の声をともに、賃上げや投資につながる環境づくりを進め、働く人が健康で安心して暮らせる社会をめざしていきます。
- 6 高校の垣根を越えて卒業ライブを企画し、みんなで壁を壊せたこと。また、電話ボックスから告白して見事に振られたこと。(帰りの道の夜空が滲んで見えました)
- 7 長男が大学進学を決めたこと。これまで積み重ねてきた努力が実を結び、素直に「頑張ってきた良かった」と思えた瞬間でした。また、社会人になった次男が、社会の荒波の中で確かに成長している姿を感じ、「育ててきて良かった」と心から思いました。今は私の方が子どもたちに励まされ、育てられている気がします。
- 8 法案への反映や、議員立法の成立を通じ、現場の声の大切さとその威力を再認識させていただきました。あと、議員会館に入る時、「議員の顔は警備の方が覚えている」と聞いていましたが……顔パスで通過できず、見事に止められました。はい！笑(いや、泣)



**村田 享子**  
(むらた きょうこ)  
立憲民主党  
参議院議員／比例代表  
2022年初当選

- 1 趣味は、顔出しパネルで写真を撮ること。組合員さんから顔出しパネル情報を頂くことも。また、移動中や半身浴をしながらマンガを読むこと。最近「3月のライオン」を読みました。特技は、混んでいる電車で次に空く席がなんとなく分かることです。
- 2 私の出身地・鹿児島は銭湯のほとんどが温泉。大人460円、子ども150円で入浴できます。黒豚しゃぶしゃぶ、とんこつラーメン、白熊など美味しいものがたくさんありますが、私の一押しは「鳥刺し」です。
- 3 柳田稔・元参議院議員(広島選挙区)です。10年間秘書として働いていました。いつも労働組合の皆さんのこと、ものづくり産業のこと、地元・広島のことを大切にされてきました。端的な言葉で本質を突く鋭い国会質疑は、まだまだ真似できません。
- 4 ものづくり産業を政治から盛り上げていくこと。産業の発展・賃上げの後押しにつながる政策を推進し、素晴らしい技術で作られた製品を国内外で普及させていきたいです。所属する経済産業委員会では、「ご安全に！」の挨拶から始め、この言葉に元気をもらいながら、質疑をしています。
- 5 一番相談が多いのが人手不足。工業高校の魅力向上や小・中学生のものづくり体験等、訴えています。持続的な賃上げを実現するため、価格転嫁や特定最賃の活用も重要な課題です。また、現在の物価高に対応した税制として、食事補助や通勤手当の非課税限度額の引き上げ、パソコン等の備品を購入した際の少額減価償却資産の対象拡大に取り組んでいます。
- 6 学生時代は東京で「鹿児島県人寮」に住んでいました。毎日のように飲みに行っていました。そのつながりで柳田先生に出会い、今の仕事につながっています。また、国会初質疑の際、答弁された経産省の方も寮の先輩でした。
- 7 国会での初質疑で取り上げた工場向けの電力への支援金が実現。政府や他の議員に電気料金の高騰による現場の厳しさを伝え、課題を共有することで、実現につながりました。「支援金のおかげで、賃金が上がりました」という声もあり、嬉しかったです。
- 8 初めて国会の議席に座ったとき、「皆さんの応援のおかげでここに来ることができた。よし、頑張ろう！」と気持ちが高揚したと同時に、「あれっ!? 国会の椅子って、こんなに硬くて、狭くて、座りづらいのか!」と驚きました。ちなみに、議席の下には「防災ヘルメット」が収納されています。「ご安全に」。